

2020年度 オレンジボール大会規定

| | | | |
|--------|-------------|--|------------------|
| 競技場 | グラウンド | 塁間18.29m 投手間13.11m ソフトボール区画線を使用 | |
| | 外野ゾーン | 55mの曲線 | 外野フェンス設置（決勝会場） |
| | ベース | 移動ベース | |
| 用具 | 使用球 | 軟式D号ボール（通称オレンジボール） | |
| | ヘルメット | 打者は、必ず着用 | |
| | 捕手 | プロテクター、レガース、捕手用ヘルメット | ファウルカップ使用も望ましい |
| | ユニフォーム | 県大会（背番号は重複しない。混在ユニフォームで良い） 支部大会は支部にての判断 | |
| | 帽子 | 着用（グラウンド内では全員着帽） | |
| | 靴 | スパイク、運動靴等で良い | 全員同一でなくて良い |
| 試合の準備 | 参加資格 | 3年生以下で、常時2年生以下2名が出場の事 スポーツ保険に加入済みの事（必須） | 選手交代も同学年とする |
| | チーム | 単独チーム又は混成チーム | |
| | 参加承諾書 | チームでの参加承諾書を提出（オーダー表と提出） | 1部提出で良い |
| | 試合回数 | 5回（90分経過したら新しいイニングに入らない） | |
| タイム | 回数 | 守備、監督、攻撃のタイムは各3回 | 選手交代時は除く |
| 守備 | 悪送球 | 有り（内野手等の暴投はフリー若しくはボールデット） | 投球後の挟殺プレーはボールデット |
| ベースコーチ | ランナーコーチ | 5年生以上、又は大人でユニフォーム着用 | ユニフォームでなくても良い |
| 打者、打撃 | 三振 | ストライク3で三振 | |
| | 四球 | 4ボールで1塁へ安全進塁 | 申告故意四球も採用 |
| | 死球 | 有り（臨時代走を監督に確認） | |
| | 振り逃げ | 無し（打者は三振アウト） | |
| | バント、スクイズ | 無し（行った場合、カウントストライクで注意） | |
| | 打撃 | 投手の投球した球を打つ | |
| 走塁 | 盗塁 | 無し | |
| | 離塁 | 投手の投球（リリース）までは離塁は出来ない | 離塁は2.3歩程度とする |
| | タッチアップ | 無し | |
| | スライディング | 認める（ベースに向かうのみ） | |
| 投手 | カウント | 3ストライク4ボール（通常ルール通り） | |
| | パスボール | 無し（バッテリ間ではボールデット） | |
| | 投球制限 | 1日60球迄でイニングは関係しない | 投手は原則3年生とする |
| 攻撃 | チェンジ | 1イニング9得点で、アウトカウント関係なくチェンジとなる | |
| 守備 | フォースプレイ | 全ての塁の捕球はアウト（落球はセーフ） | |
| | タッグプレイ | タッグしてアウト（落球はセーフ） | |
| | ファウルグラウン | 捕球でアウト、落球はファールボール | アウト時には走者をもとの塁へ戻す |
| 内野守備 | フェアグラウンド | 完全捕球でアウト（グラブに触れ落球はセーフ） | アウト時には走者をもとの塁へ戻す |
| 外野守備 | フェアグラウンド | グラブに触ればアウト | 飛球を捕り離塁のアピールでアウト |
| 選手の交代 | リエントリー（再出場） | 有り（先発メンバー9人のみ1度戻れる） | 代打の代わりに守備のみ再出場 |
| 試合終了 | 同点で終了 | 抽選とする（各現出場選手9人で抽選） | 監督が取りまとめ開封 |
| | 決勝戦 | 1回のみ特別延長戦、コールドゲーム適用 | 無死1.2塁継続打者攻撃 |
| | コールドゲーム | 3回以降9点差、18点差がついた時点で試合終了 | 裏の攻撃終了時 |
| | 日没、途中降雨 | 3回終了時で成立 | |
| 指導者 | 監督、責任者 | 必ず置く（代理でも良い） | 試合前に代理である旨を届け出る |
| ジャッジ | 審判員 | 県大会は、公認審判員 | 支部大会は、支部にての判断 |
| | インフィールドフライ | バッターアウトでボールデット（落球でも） | 走者は元の塁へ戻す |
| 規程追加 | 投手の遅延行為 | 投手の12及び20秒ルールを適用しない | 注意喚起を行う |